

年間授業計画

都立松が谷 高等学校 令和8年度（1 学年用）

情報 科目 情報Ⅰ

教 科： 情報 科 目： 情報Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・2・3・4・7・8 組：新城）（5・6 組：淀川）

使用教科書：（実況出版 情Ⅰ 007-903）『情報Ⅰ Flex』

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術の活用技能を習得する中で、規範を含めた情報社会と人との関わりについて理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、自ら課題を見つけ解決する力および言語能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を活用して、グローバルに変化する情報社会に主体的に参画し貢献できる態度と規範意識を

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての理解を深め技能を習得するとともに、SNSの功罪やモラル等の規範についての知識および情報社会と人との関わりについての理解を深めるように	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、自ら課題を見つけ多様な人々と協働し解決するために情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力とプレゼン能力等を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会と問題解決 【知識及び技能】情報やメディアの特性を踏まえ、情報技術が人社会に果たす役割と及ぼす影響について理解し、さらに情報に関する法規や制度、規範について理解をする。 【思考力、判断力、表現力等】情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法および望ましい情報社会について考察しながら、情報に関する法規や制度、規範の意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。	・指導事項 情報社会の特徴 問題解決 情報社会における法規と制度 情報セキュリティ ・教材 教科書、スライド対応プリント ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出	【知識・技能】 ①情報やメディアの特性を理解している。 ②情報技術が人社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 ③情報に関する法規や制度、規範について理解している。 【思考・判断・表現】 ①情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決することができる。 ②望ましい情報社会の構築について考察することができる。 ③情報に関する法規や制度、規範の意義について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的に知識を活用しようとする可以尝试。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】メディアとコミュニケーションの手段の特徴を科学的に捉え、情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解し、表現する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】メディアとコミュニケーションの手段の特徴を科学的に捉え、またコミュニケーションやプレゼンテーションの目的を明確にしたうえで適切かつ効果的な情報デザインについて考察し、表現、評価、改善する。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。	・指導事項 メディアとコミュニケーション 情報のデジタル表現 情報デザイン ・教材 教科書、スライド対応プリント ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出	【知識・技能】 ①メディアとコミュニケーションの手段の特徴を科学的に理解している。 ②情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 ③情報デザインを適切に表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①メディアとコミュニケーションの手段を適切に選択できる。 ②コミュニケーションやプレゼンテーションの目的を明確にしたうえで適切かつ効果的な情報デザインについて考えることができる。 ③情報デザインについて、表現し、評価し改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的に知識を活用しようとする可以尝试。	○	○	○	14
2 学 期	コンピュータと情報機器 【知識及び技能】コンピュータや外部装置の仕組みや特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。	・指導事項 コンピュータの仕組み コンピュータによる演算 ・教材 教科書、スライド対応プリント ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出	【知識・技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的に知識を活用しようとする可以尝试。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	プログラミングとモデル化 【知識及び技能】プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解し、さらに事象をモデル化しシミュレーションをする方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自ら見つけた課題に応じたアルゴリズムやモデル化について適切に表現し、プログラミングやモデルを評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。	・指導事項 アルゴリズム プログラム モデル化 シミュレーションによる問題解決 ・教材 教科書、スライド対応プリント ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出	【知識・技能】 ①プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解している。 ②事象をモデル化しシミュレーションをする方法について理解する。 【思考・判断・表現】 ①自ら見つけた課題に応じたアルゴリズムやモデル化について適切に表現することができる。 ②プログラミングやモデルを評価し改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的に知識を活用しようとする可以尝试。	○	○	○	12
3 学 期	定期考査			○	○		1
	ネットワークと情報システム 【知識及び技能】情報通信ネットワークの仕組みおよび、情報システムがサービスを提供する仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】情報セキュリティを確保する方法および、情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。	・指導事項 情報システム ネットワーク 情報セキュリティ ・教材 教科書、スライド対応プリント ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出	【知識・技能】 ①情報通信ネットワークの仕組みについて理解している。 ②情報システムがサービスを提供する仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。 ②情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的に知識を活用しようとする可以尝试。	○	○	○	10
	データベースとデータの活用 【知識及び技能】データを収集、整理、分析する方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】データの収集、整理、分析について評価、改善する。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、多様な人々と協働する力を養い、新しい情報社会に主体的に参画する態度と規範意識を身に着ける。	・指導事項 データベース データの活用 ・教材 教科書、スライド対応プリント ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Teamsを用いた授業資料の配信や課題等の提出	【知識・技能】 データを収集、整理、分析する方法について理解している。 【思考・判断・表現】 データの収集、整理、分析について評価、改善する。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の課題を発見し、解決しようとする積極的に知識を活用しようとする可以尝试。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

都立松が谷 高等学校 令和 8 年度（2 学年用） 情報 科目 情報

教 科：情報

科 目：情報演習

単位数：2(1) 単位

対象学年組：第 2 学年 1・2・3・4・5・6 組 （普通科1・2・4・5組は1単位、普通科外国語

教科担当者 淀川 知行

使用教科書 （（東京書籍2 情 I 702）『情報 I Step Forward!』）

教科 情報

の目標：

- 【知識及び技能】情報と情報技術の活用技能を習得する中で、規範を含めた情報社会解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、自ら課題を見つけ解決う。
- 【学びに向かう力、人間性等】情報や情報技術を活用して、グローバルに変化する情報社会に主体と規範意識を養う。

科目 情報演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに
数学をはじめ他教科での学習内容と連携し、それぞれの既習内容をデータセットから分析を行う。表計算及びPythonコーディング両面の手法を知識として習得する	様々な事象をオープンデータなどをインポートして、合理的なエビデンスとして活用可能な分析実践力をプログラミング実習を通して習得	情報と情報技術に、情報社会に養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準
1 学期	【統計基礎・各種分析】様々な統計データを表計算ソフトにインポートした上で、数学 I 及び情報 I で既習の統計基礎を基に分析し、合理的な将来予測を立てることができる	- データの収集と整理 - データ分析と表計算 - データの可視化 - データ分析の手法 - 代表値、相関、度数分布、ヒストグラム、箱ひげ図 - 回帰分析、重回帰、正規分布、ベルカーブ、T・Z 検定	【知識・技能】【思考・判断・表現】表算ソフトを用いる各種分析手法を用いた視化をさせ、適切に問題点を切り取れるを小テストと成果物により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出席状および課題の提出状況によって評価する
	【モデル化とシミュレーション】問題の解決に至る考え方を数式化した上で、表計算ソフトウェアに実装を行い結果を検証評価できる	- モデル化とシミュレーション - モデルの分類、手順、手法、注意点 - 確率的シミュレーション - 動的シミュレーション - ドント方式	【知識・技能】【思考・判断・表現】表算ソフトを活用した統計処理、回帰分析各種シミュレーションを基に、問題を解する小テストにより知識・思考を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出席状および課題の提出状況によって評価する
	・データベースの仕組みをSQL言語に紐づけしながら理解することにより、トランザクションのアルゴリズム設計を理解する。	- オンラインRDBをウェブアプリを用いて体験学習する。 - リレーショナルデータベース操作を実践した上で、データベース上から目的に合致する解を発見する	【知識・技能】【思考・判断・表現】データベースの運用に係る基礎的な概念理解解を導く合理的な操作理解を小テストと果物両面で評価する
2 学期	【アルゴリズムとプログラミング】問題解決の過程をフローチャートで表現した上で、Pythonコードを用いて実装できる。さらに、コードを実行・評価を行いデバッグを行うことができる	- アルゴリズムとその表記、方法 - 順次処理、反復処理、分岐処理、変数、関数、乱数、モジュール、ライブラリを適切に組み合わせた課題解決	【知識・技能】【思考・判断・表現】順処理、反復処理、分岐処理、変数、関数乱数、モジュール、ライブラリを適切にみ合わせた課題解決の可否を小テストと果物により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出席状および課題の提出状況によって評価する
	【問題解決】世の中で問題視され、解決すべきとされている問題・課題について、どの部分に	- 問題発見 - 問題の発見 - 問題の明確化	【知識・技能】【思考・判断・表現】Pythonコーディングにより統計的な処理行ったうえで、小テストを行い処理結果

	ついて解決すべきか。具体的な数字から判断する。また、解決策の提案と実施計画書の作成をする。	・解決案の検討 ・解決案の決定	適切であるかどうかを評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出席状および課題の提出状況によって評価する
3 学期	【問題解決】情報Iデザインで既習の事柄を前提にした、ウェブプラットフォームにおけるメディアの統合としてウェブページ作成からウェブサイト設計を行う。	・様々な情報を画像映像などに可視化を行う ・文字情報、可視化した視覚情報、プレゼンテーションソフトウェアを活用した動画情報をHTMLを用いて統合的コンテンツにまとめ、さらにウェブサイトにもとめる。	【知識・技能】【思考・判断・表現】・様々な情報を画像映像などに可視化し、字情報、可視化した視覚情報、動画情報HTMLを用いて統合的コンテンツにまとめ、さらにウェブサイトにもとめた成果及び小テストで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出席状および課題の提出状況によって評価する

演習

コース3・6組は2単位)

と人との関わりについて理
する力および言語能力を養
的に参画し貢献できる態度

向かう力、人間性等】
を適切に活用するととも 主体的に参画する態度を

	知	思	態	配当 時数
計 可 力	○	○	○	28 (14)
況 。				
計 決	○	○	○	
況 。				
一 成	○	○	○	
次 組 成	○	○	○	14 (7)
況 。				
を が				

況。	○	○	○	14 (7)
文をと物況。	○	○	○	16 (8)
				合計
				72 (36)